

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ウォーミングアップについて

(1) ウォーミングアップエリアは以下のとおりとする。

場所	時間	
主競技場 第 2 コーナーから第 3 コーナー	全日	入場～競技終了まで

※駒沢競技場正面入口前の広場でのウォーミングアップ・運動は禁止する。

(2) ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を通って行くこと。また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつけること。

(3) 競技区域内に入場できるのは、競技者のみ（※選手専用 AD カードが必要）とし、指導者・引率者等の立入は認めない。

(4) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い（競技運営上、一時的に制限することがある）、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。

※事故防止の観点から、ウォーミングアップエリアでの傘をさしての移動や音楽を聴きながらの運動は禁止とする。

(5) ウォーミングアップエリアを含む競技区域内では、カメラ・携帯電話・スマートフォンなどによる撮影は禁止とする。

(6) 駒沢競技場内及び駒沢公園内で、メディシンボールなどの用器具を投げる運動は禁止とする。

(7) リレーのバトン練習は以下の通りとする。

バトン練習時間		場所
2 日目 9/21	8 : 2 0 ~ 9 : 1 5	第 1 曲走路からバックストレート ※使用するレーンは、競技役員の指示に従うこと
	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0	
	1 3 : 2 5 ~ 1 4 : 3 0	

(8) 練習用ハードルの設置については以下の通りとする。

競技種目	ハードル設置時間		場所
男女 400mH	3 日目 9/22	8 : 2 0 ~ 1 0 : 1 0	第 1 曲走路からバックストレート
男子 110mH 女子 100mH	4 日目 9/23	8 : 2 0 ~ 9 : 1 5	ホームストレート
		1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 2 0	バックストレート側 棒高跳ピット

(9) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行うこと。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は 100m スタート付近（競技場レイアウト参照）に設置する。
- (2) 代理人による点呼は認めない。但し種目を兼ねて出場する者で同時に 2 種目行われる場合は、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (3) 招集開始時間、招集完了時間は下記のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
男女走高跳・男女走幅跳・男女三段跳	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
男女ハンマー投	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
上記以外のフィールド種目予選	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
上記以外のフィールド種目決勝	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前

* ハンマー投競技は、9 月 19 日（土）大井競技場にて実施する。

- (4) 棒高跳びは招集を現地で行い、競技開始 50 分前に打ち切りとする。
- (5) リレーに出場するチームは、各ラウンドの 1 組目の招集完了 60 分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係主任に届け出ること（オーダー用紙はプログラムに掲載してある）。

4 アスリートビブスについて

- (1) 3000m 以上の個人種目（3000mSC を含む）では、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、ラウンド（予選、決勝）に関わらず各自で準備すること。
- (2) サイドビブスは、リレー以外の全トラック種目、400m リレーの 4 走者、1600m リレーの 2～4 走者において両側の腰につけること（インサイドカメラ使用のため）。サイドビブスもラウンドに関わらず各自で準備すること。

5 番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) 400m までのトラック種目および 4×400m R における準決勝、決勝に時間により進出する最後の 1 枠に同成績がいる場合は、0.001 秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、抽選を行う。
- (3) 抽選は同成績者または代理人によって行われる。アナウンス後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。
- (4) 800m 以上の種目で最後の 1 枠に同タイムが出た場合、0.001 秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、同成績者は次のラウンドに進出できるものとする。この場合 800m は 1 つのレーンに複数割り当てる。

6 競技について

(1) トラック競技について

- ① Set の合図の後に正当な理由なく手をあげるなどの遅延行為等を行った時、イエローカードを示し、警告を与える場合がある【競技規則 TR16.5.1-3】。累積 2 枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
- ② リレー種目では、同一のユニフォームを原則とする【競技規則 TR5.1】。ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ③ 男子 5000mW はスタートから 33 分、女子 5000mW はスタートから 38 分で次の周回には入れないものとする。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技の予選通過記録は以下のとおりとする。

男子	砲丸投 11m80	円盤投 35m00	やり投 48m00
女子	砲丸投 9m40	円盤投 27m00	やり投 32m00

- ② 男女走高跳、男女走幅跳、男女三段跳、男女棒高跳、男女ハンマー投は予選を行わない。
- ③ 予選通過記録を突破した競技者が 12 名に満たなかった場合、予選の成績により決勝進出者を追加補充する【競技規則 TR25.15】。
- ④ 男女走高跳、男女走幅跳、男女三段跳は A・B ピットに分かれて行い、競技終了まで割り当てられたピットは変更しない。
- ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から男子は 11m 地点、女子は 9m 地点に設置する。
- ⑥ ハンマー投は、ペグ方式で行う。
- ⑦ 手拍子等の応援については、競技役員の指示に従うこと。

(3) 同時申込について

- ① 試技を行うべき順序の際に競技者不在の場合は、試技時間が過ぎたら「パス扱い」とする。【競技規則 TR4.3】

7 競技用具について

競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するものは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させねばならない【競技規則 TR32.2】。用具の検査を希望する場合は、招集開始時刻までに管理室(大会本部横)に用具を持参すること。

8 走高跳・棒高跳について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、競技者が最後の1名になり優勝が決定するまでは次の通りとする。但し、天候などの状況により変更することがある。

種 目	練 習	バーのあげ方
男子走高跳決勝	1m65・1m80	1m70・1m75・1m80・1m85 以後3cmずつ
女子走高跳決勝	1m35・1m50	1m40・1m45・1m50・1m55 以後3cmずつ
男子棒高跳決勝	2m20・2m60・3m20・ 4m00・4m30	2m40～3m60 20cmきざみ 3m60～4m60 10cmきざみ 以後5cmずつ
女子棒高跳決勝	1m80・2m40・2m80	2m00・2m20・2m40 以後10cmずつ

- (2) 関東大会出場枠の最終順位に同順位が複数名いた場合、同順位の選手のみによる関東大会出場者決定戦をジャンプオフ形式で行う。
- (3) 男女走高跳は、A・B の 2 ピットで行う。

9 競技用シューズについて

- (1) 競技用シューズの最大の厚さは、競歩競技で 40 mm、その他の種目では 20 mmとする。【競技規則 TR5.2】。ただし、サークルから行われる投てき種目(砲丸投,円盤投,ハンマー投)に関しては、任意のシューズの着用を認める。
- (2) 必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することがある。
- (3) その他詳細、WA 承認靴リストについては、日本陸連ホームページ「シューズ規則に関して」を参照すること。 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目結果発表は、大型映像装置及びアナウンスで行う。掲示板による発表は行わない。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、同一日に次のラウンドが行われる場合は発表後 15 分以内、それ以外の場合は発表後 30 分以内に、競技者もしくは顧問が審判長に対して口頭で行い、審判長からの裁定を聞く。この裁定に納得がいかない場合は、預託金 (20, 000 円) を添えて、総務を通して Jury に「上訴申立書」で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる【競技規則 TR8】。「上訴申立書」は総務に用意する。

11 助力について

- (1) 招集完了から競技終了まで、付添など競技者以外の者による介添えは、助力と見なされ許可しない【競技規則 TR6.1】。
- (2) 800m 以上のトラック種目においては、競技終了直後の競技区域内における介添えを認める。介添えを行う者は、あらかじめ B ゲート付近で待機しておくこと。但し、競技区域内における応援は禁止とする。
- (3) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは、助力と見なされ許可しない【競技規則 TR6.3.2】。
- (4) 顧問・指導者らによる助言・指導は、競技場内スタンドに設けたコーチングエリアからのみ行うことができる。競技エリア(グラウンドレベル)での助言・指導は禁止とする。
- (5) スタンドから競技者に映像機器を手渡す場合は、指定された場所からのみ認める。

12 応援について

- (1) 応援は、必ずスタンドから行うこと。グラウンドレベル（競技エリアおよびウォーミングアップエリア）での応援は禁止とする。また、コーチングエリアでの応援も禁止とする。
- (2) 集団応援は、スタンドの通路よりも上段部分で行うこと。通路よりも下段部分での集団応援は禁止とする。また、ホームスタンドでの集団応援は全面禁止とする。
- (3) スターターによるスタートの合図がかかった時は、応援を止めること。

13 入賞について

- (1) 各種目 8 位までを表彰する。
- (2) 入賞者（チーム）の得点は、1 位 8 点・2 位 7 点・3 位 6 点・4 位 5 点・5 位 4 点・6 位 3 点・7 位 2 点・8 位 1 点とする。
- (3) 男女各 1 名ずつ優秀選手を表彰する。

14 関東高校選抜新人大会について

- (1) 本大会で3位まで（走高跳・棒高跳は3名）に入賞した者（チーム）は、令和8年度関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会（10/24（土）・10/25（日）神奈川）の出場候補者となる。
- (2) 関東高校選抜新人大会に出場権を得た学校は正面スタンド1階強化委員会の部屋（貴賓室隣）まで書類を取りに来ること。なお、欠員が生じたときは繰上げて出場できる場合がある。詳細は征矢強化委員長まで。
- (3) 9月29日（火）18時00分～立教池袋高校にて関東高校選抜新人大会出場者の申込受付を行なうので、顧問は必要書類をととのえた上、必ず出席すること。（駐車場がないので車での来校は禁止）

15 その他

- (1) ゴミは、各自で必ず家に持ち帰ること。なお、競技終了後、各支部は指定された区域の清掃を行うこと。9月21日(月)第2・第3支部、22日(火)第5・第6支部、23日（月）第1・第4支部の学校、責任者は各支部長。
- (2) 競技場内通路（ダッグアウト）にシートを敷いたりして場所を占有してはならない。
- (3) 学校対抗の表彰は閉会式にて実施する。
- (4) 本大会中、2026年国民スポーツ大会の壮行会を行う。
- (5) 記録証は1部300円で発行する。希望者は、大会本部に申し出ること。最終日の16:30までに受け付けた場合のみ当日に発行する。
- (6) その他不明の点は大会総務まで照会下さい。